



ウガンダ共和国から視察 愛川町の多文化共生施策を紹介

問 企画政策課 企画政策班 ☎(内線)3234



町内にある「ラオス文化センター」を視察する一同

7月25日、アフリカで最も難民を受け入れているウガンダ共和国の政府高官とJICA(国際協力機構)の皆さんが、多文化共生の取り組みを視察するため、本町を訪れました。

今回の訪問は、同国が難民との共生を進めるにあたり視察を行ったもので、当日は、本町の多文化共生施策について意見交換を行ったほか、神奈川県内陸工業団地の物流企業や、ラオス文化センターなどを視察されました。



小野澤町長と同国政府高官の皆さん

勤労祭野外フェスティバルを開催

問 商工観光課 商工労政班 ☎(内線)3524

8月20日、共に働く喜びを祝う「第37回愛川町勤労祭野外フェスティバル」を開催し、年齢や国籍を超えた多くの来場者でにぎわいました。

4年ぶりの開催となる今回、晴天にも恵まれ、来場者は過去最高の約23,000人。恒例の「国際交流屋台村」ではペルー、ブラジル、メキシコ、ベトナムなどの郷土料理が販売されたほか、ステージでは、和太鼓の演奏に始まり、ブラジルの伝統的なダンス「カポエイラ」や町出身のアーティストによるライブなどが行われました。



過去最高の来場者でにぎわう会場



フィナーレのサンバカーニバルでは歓声が上がリ、会場が一体となって大いに盛り上がりました

あいかわ元気券 <ご利用ください!> 登録店が増えています!

問 商工観光課 商工労政班 ☎(内線)3524

中南米や東南アジア料理のレストランなど町の特徴でもある国際色豊かな店舗も増えました!「元気券」を利用して町民の皆さんもお店も元気になりましょう。

●利用期間 12月31日(日)まで

町ホームページ
「いのちと暮らしを守る
あいかわ元気券」



●利用可能店舗 振興券とともにお渡しした一覧表、
または町ホームページをご覧ください。



— お店の方に聞きました! 元気券の反響は? —



ラミエル

皆さん元気券の配布初日からたくさん使っていたいで、使い勝手が良いと評判です。
お客さんも増えましたが、料理以外に店内で香辛料などを購入する方が増えているので、売り上げも上がり
すごく助かっています。

店主の宮里 ミドリ アナさん夫妻

元気券への引き換えが お済みでないでない方は…

「引換券」をお持ちの上、役場本庁舎4階・
商工観光課窓口でお引き換えください。
(平日の午前8時30分から午後5時まで)

※「引換券」が無い方や、不明な点などは、
商工観光課までお問い合わせ下さい。